

アセアン社債ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券



作成対象期間：2019年6月18日～2019年12月16日

第 59 期 決算日：2019年7月16日 第 62 期 決算日：2019年10月15日

第 60 期 決算日：2019年8月15日 第 63 期 決算日：2019年11月15日

第 61 期 決算日：2019年9月17日 第 64 期 決算日：2019年12月16日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うとともに、実質組入米ドル建て資産に対して米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行うことで、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第64期末 (2019年12月16日)	
基準価額	10,678円
純資産総額	669百万円
第59期～第64期	
騰落率	+7.1%
分配金合計(*)	150円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第59期～第64期：2019年6月18日～2019年12月16日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第59期首	10,114円
第64期末	10,678円
既払分配金	150円
騰落率	7.1%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

債券利子収入を享受したことに加え、米国金利が低下したことや対象通貨（アセアン通貨の中の複数の通貨（以下「対象通貨」））（インドネシアルピア、マレーシアリングgit、フィリピンペソ、シンガポールドル、タイバーツ）が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

一部の組入債券の価格が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
アセアン投資適格社債マザーファンド	5.6%	48.2%
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	4.7%	48.1%

2019年6月18日～2019年12月16日

1万口当たりの費用明細

項目	第59期～第64期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	86	0.834	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(42)	(0.406)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(42)	(0.406)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.021	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	88	0.855	

作成期中の平均基準価額は、10,362円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

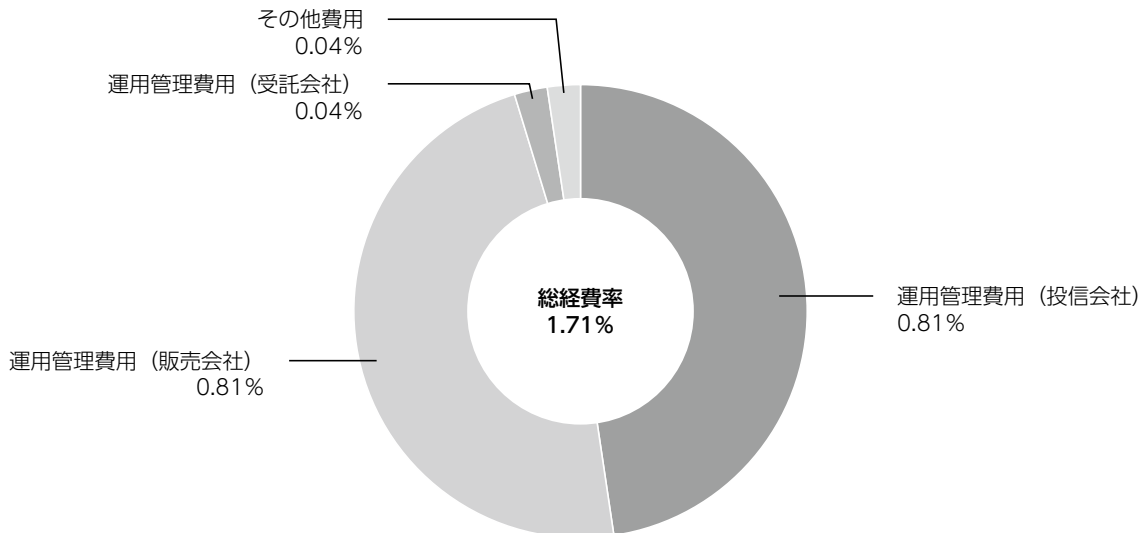
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.71%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

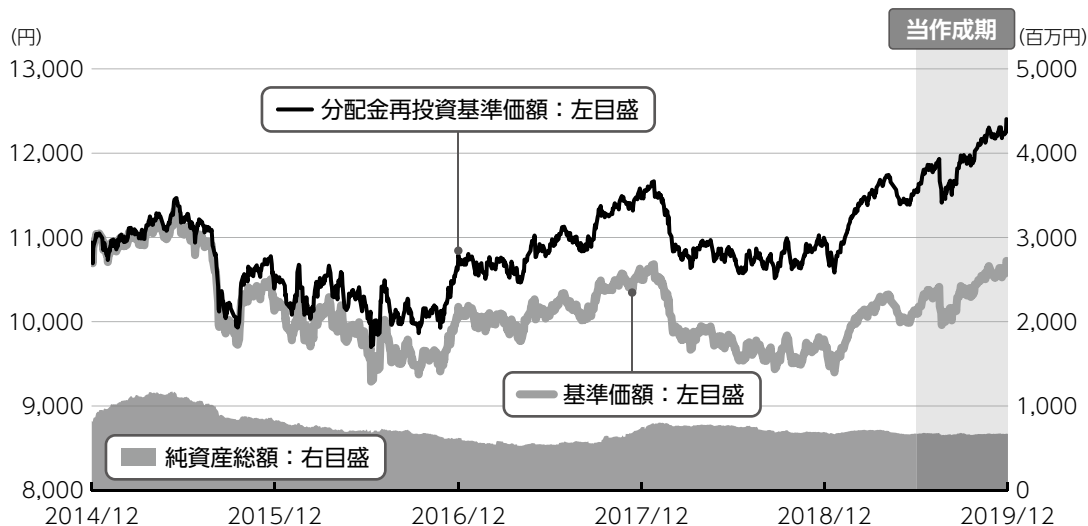
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年12月15日～2019年12月16日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2014年12月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/12/15 期初	2015/12/15 決算日	2016/12/15 決算日	2017/12/15 決算日	2018/12/17 決算日	2019/12/16 決算日
基準価額 (円)	10,939	10,140	10,176	10,498	9,720	10,678
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-4.7	3.5	6.2	-4.5	13.1
純資産総額 (百万円)	821	823	622	749	686	669

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第59期～第64期：2019年6月18日～2019年12月16日

投資環境について

▶ 社債市況

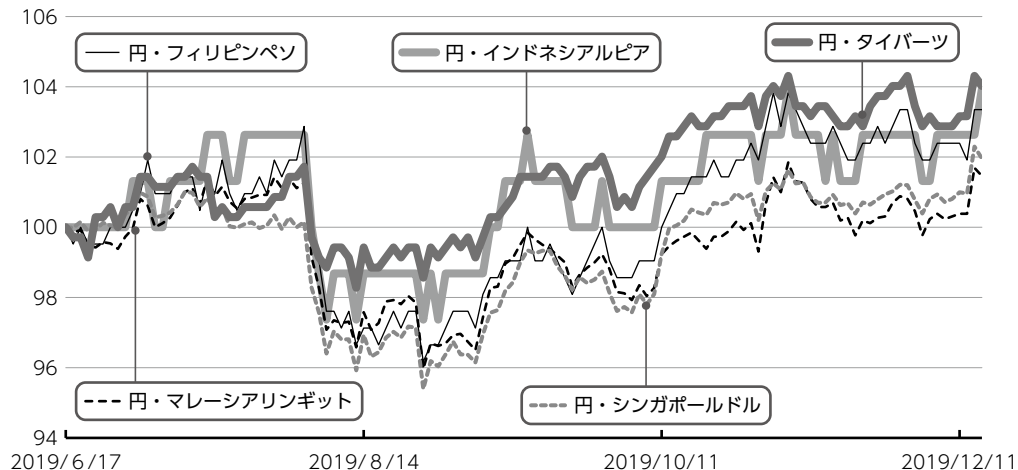
アセアン投資適格社債市況およびアセアン・ハイールド社債市況は、米国金利が低下したことや社債のスプレッドが縮小したことなどから上昇しました。

米国では、当作成期首から2019年8月下旬にかけては、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国の欧州連合（EU）離脱への不透明感などにより、米国金利は低下しました。その後、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから米国金利は上昇に転じたものの、米連邦公開市場委員会（FOMC）にて7月以降3回に渡って利下げが行われたことが金利上昇を抑える一因となり、当作成期を通じてみると、米国金利は低下しました。

社債のスプレッドは、当作成期首から8月下旬にかけて、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国のEU離脱への不透明感などから拡大しました。アセアン投資適格社債は、上述した米中や欧州の政治

リスクが後退したことや、FOMCにて予防的利下げが行われたことが相場の支援材料となり、社債のスプレッドは縮小しました。当作成期を通じてみると、社債のスプレッドは縮小しました。一方、アセアン・ハイールド社債は、上述した米中や欧州の政治リスクが後退したことや、FOMCにて予防的利下げが行われたことが相場の支援材料となり、社債のスプレッドは石炭などの一部の銘柄を除き、縮小しました。当作成期を通じてみると、社債のスプレッドは概ね横ばいとなりました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況

アセアン各国通貨は対円で上昇しました。

為替市況は、アセアン各国通貨は対円で上昇しました。当作成期首から2019年8月下旬にかけては、米中貿易摩擦に対する長期化懸念や英国のEU離脱への不透明感などにより、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを受けて、アセアン各国通貨は対円で下落基調となりました。その後、米中貿易摩擦や英国のEUからの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、アセアン各国通貨は対円で上昇しました。当作成期を通じてみると、アセアン各国通貨は対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて**▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）**

アセアン投資適格社債マザーファンドおよびアセアン・ハイイールド社債マザーファンドにそれぞれ純資産総額の50%程度の投資を維持しました。

また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引（NDF）等を行い、各対象通貨の配分は概ね均等を維持しました。

▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターへの多めの配分を維持しました。

▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。

当作成期においては、債券格付別では、B B 格相当への多めの配分を維持しました。また、セクター別では業況が安定している金融セクターおよび生活必需品セクターへの多めの配分を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第59期 2019年6月18日～ 2019年7月16日	第60期 2019年7月17日～ 2019年8月15日	第61期 2019年8月16日～ 2019年9月17日	第62期 2019年9月18日～ 2019年10月15日	第63期 2019年10月16日～ 2019年11月15日	第64期 2019年11月16日～ 2019年12月16日
当期分配金 （対基準価額比率）	25 (0.242%)	25 (0.249%)	25 (0.241%)	25 (0.239%)	25 (0.236%)	25 (0.234%)
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,191	1,193	1,210	1,219	1,231	1,243

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。

▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティ（価格の変動性）が高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用に当たっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBBB格相当や金融セクターへの配分を多めとする方針です。

▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

世界経済の先行き不透明感が高まる局面では、相応にボラティリティが高まりやすく、企業間の優勝劣敗が進みやすいものと考えます。運用に当たっては、アグレッシブな財務戦略を展開する企業については留意し、慎重に分析・銘柄選択を行ってまいります。また、信用リスクや流動性リスク等を考慮した上で、割安で相対的に業況が安定していると判断されるBB格相当や金融セクターおよび生活必需品セクターへの配分を多めとする方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

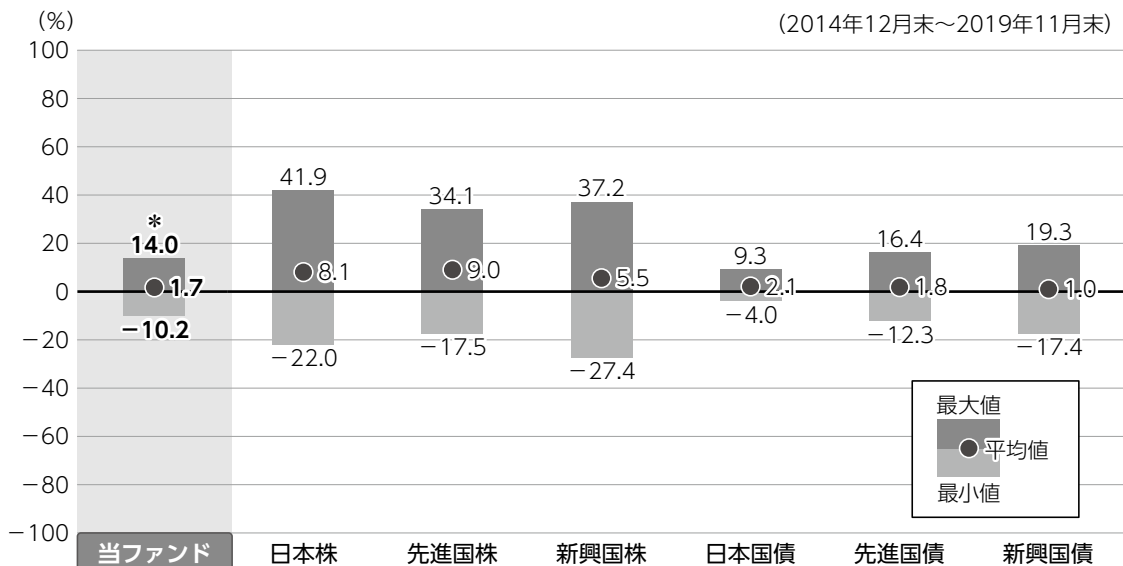
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2024年6月14日まで（2014年8月18日設定）
運用方針	<p>アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、各マザーファンド受益証券への投資割合は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>アセアン通貨の中で複数の通貨（以下「対象通貨」といいます。）に分散投資を行い、各対象通貨の配分は概ね均等とすることを基本とします。なお、アセアン諸国の投資環境等に応じて、対象通貨の見直しまたは通貨の配分を変更することがあります。運用にあたっては、実質組入米ドル建て資産に対して、原則として米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。（このため、基準価額はすべての対象通貨の対円での為替変動の影響を受けます。）</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■アセアン投資適格社債マザーファンド アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。</p> <p>■アセアン・ハイイールド社債マザーファンド アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年12月から2019年11月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2015年8月～2019年11月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年12月16日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第64期末 2019年12月16日
アセアン投資適格社債マザーファンド	48.2%
アセアン・ハイイールド社債マザーファンド	48.1%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

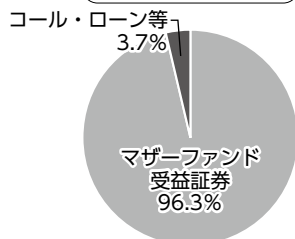
純資産等

項目	第59期末 2019年7月16日	第60期末 2019年8月15日	第61期末 2019年9月17日	第62期末 2019年10月15日	第63期末 2019年11月15日	第64期末 2019年12月16日
純資産総額 (円)	675,314,661	655,614,514	673,080,209	664,275,390	668,203,055	669,454,909
受益権口数 (口)	654,320,359	653,557,707	651,277,710	635,999,034	632,927,452	626,946,362
1万口当たり基準価額 (円)	10,321	10,031	10,335	10,445	10,557	10,678

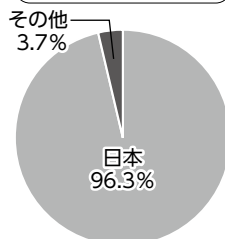
※当作成期間中（第59期～第64期）において追加設定元本は13,122,394円
同解約元本は 49,135,033円です。

種別構成等

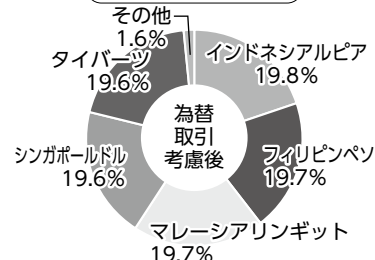
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】は、組入ファンドの発行国を表示していません。

290967

2019年12月16日現在

組入上位ファンドの概要

アセアン投資適格社債マザーファンド

基準価額の推移

2019年6月17日～2019年12月16日



1万口当たりの費用明細

2019年6月18日～2019年12月16日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	2	0.013
（保管費用）	(2)	(0.012)
（その他）	(0)	(0.001)
合計	2	0.013

期中の平均基準価額は、13,889円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：30銘柄)

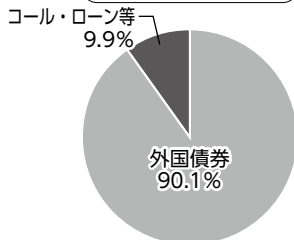
銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1 5.125 PERUSAHAAN 240516	債券	インドネシア	社債	5.1
2 4.25 PT PELABUHAN 250505	債券	インドネシア	社債	5.0
3 4.625 MINEJESA CA 300810	債券	オランダ	社債	4.8
4 VAR UNITED OVERSE 260916	債券	シンガポール	社債	4.8
5 3.875 INDONESIA E 240406	債券	インドネシア	特殊債	3.7
6 2.95 BDO UNIBANK 230306	債券	フィリピン	社債	3.6
7 6.35 PTTEP CANADA 420612	債券	カナダ	社債	3.3
8 3.375 TEMASEK FIN 420723	債券	シンガポール	社債	3.2
9 6.5 PERTAMINA 481107	債券	インドネシア	社債	3.1
10 6.5 PERTAMINA PT 410527	債券	インドネシア	社債	3.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

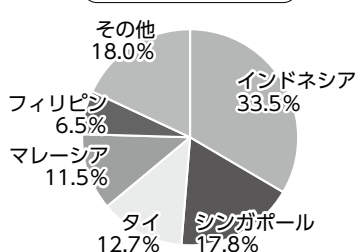
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

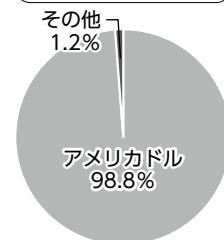
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

290972

2019年12月16日現在

組入上位ファンドの概要

▶ アセアン・ハイールド社債マザーファンド

基準価額の推移

2019年6月17日～2019年12月16日



1万口当たりの費用明細

2019年6月18日～2019年12月16日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	2	0.014
（保管費用）	(2)	(0.013)
（その他）	(0)	(0.001)
合計	2	0.014

期中の平均基準価額は、14,156円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

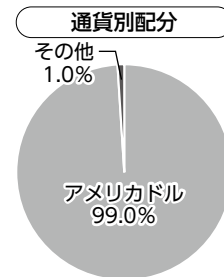
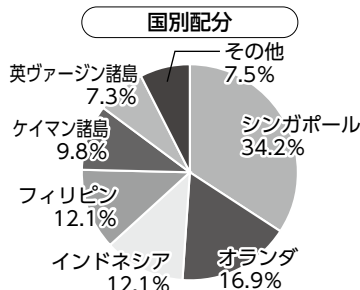
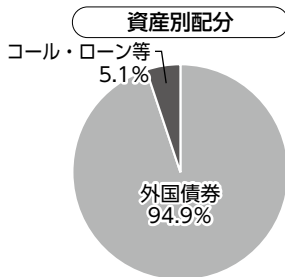
(組入銘柄数：33銘柄)

順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	FRN SMC GLOBAL PO 670725	債券	フィリピン	社債	4.9
2	5.75 VLL INTERNAT 241128	債券	ケイマン諸島	社債	4.9
3	VAR ROYAL CAPITAL 491229	債券	オランダ	社債	4.8
4	6.75 MEDCO PLATIN 250130	債券	シンガポール	社債	4.8
5	7 TBLA INTERNATIO 230124	債券	シンガポール	社債	4.7
6	5.5 GLOBAL PRIME 231018	債券	シンガポール	社債	4.7
7	7.5 OLAM INTERNAT 200812	債券	シンガポール	社債	3.6
8	4.25 PT ADARO IND 241031	債券	インドネシア	社債	2.9
9	6.375 INDO ENERGY 230124	債券	オランダ	社債	2.7
10	9.375 NAGACORP LT 210521	債券	ケイマン諸島	社債	2.5

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信